

令和6年3月22日

厚生労働省

人材開発統括官 岸本 武史 殿

公益社団法人 日本看護協会

会長 高橋 弘 枝



## 令和7年度予算・政策に関する要望書

医療の高度化、高齢化の進展に伴う患者像の複雑化、さらに、地域包括ケアシステムの推進により療養の場が医療機関から地域のあらゆる場所へと広がっていること等により、看護の現場ではこれまで以上に幅広い専門的知識や高い判断能力が求められています。

こうした社会・医療環境において、看護師に求められる役割を発揮するためには、3年間の看護基礎教育では時間数が不足する現状があり、大学や修業年限を4年に延長し、看護実践能力の向上に向けた教育を行う養成所も増えています。

つきましては、社会人経験者が社会に求められる役割を果たす看護師となるため、充実した学びの場を選択できるよう、以下の事項につきまして、格別のご高配を賜りますよう要望いたします。

### 要 望 事 項

- 専門実践教育訓練給付金制度の対象として、4年間の教育を行う看護師養成所及び大学を追加

# 1. 専門実践教育訓練給付金制度の対象として、4年間の教育を行う看護師養成所及び大学を追加

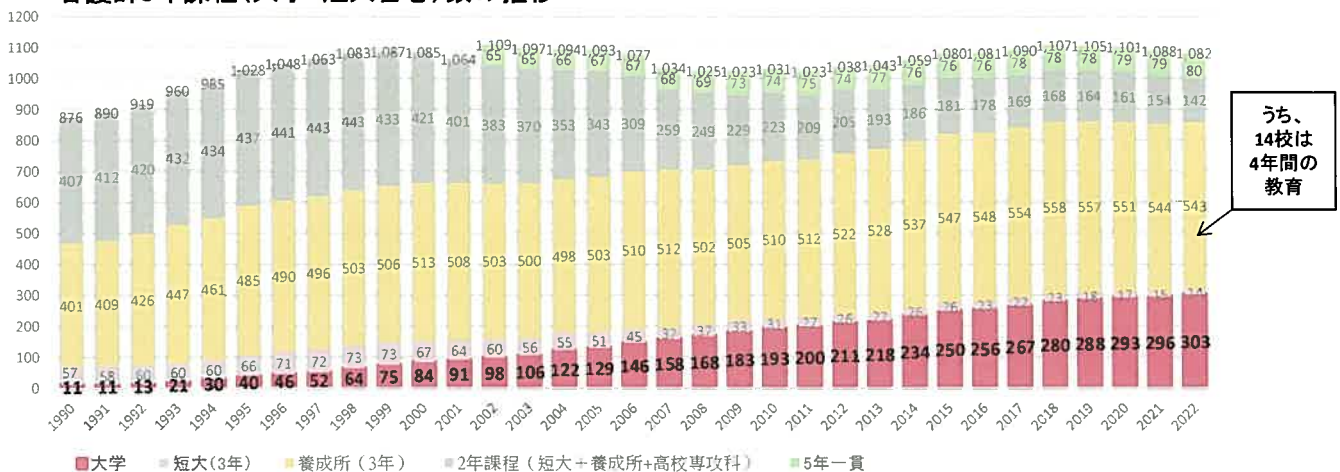
- 看護師の人材不足や看護師に求められる資質が高まっていることを受けて、看護師を養成する大学及び4年間の教育を行う看護師学校養成所を専門実践教育訓練給付金制度の対象とし、3年分の教育訓練にかかる費用を支給する仕組みとされたい。

※看護系大学の入学者の多くは20歳未満であり、雇用保険の加入等、教育訓練の給付条件を満たすと想定される20歳以上の者は、わずか453人(1.7%)である。

## 看護師3年課程(大学・短大含む)数の推移

看護師3年課程(大学・短大含む)では大学の数が増加している。大学の入学者数は年間26,517人である。年齢内訳は20歳未満が26,064人(98.3%)と多く、20歳以上は453人(1.7%)である。

看護師3年課程(大学・短大含む)数の推移



出典:看護関係統計資料集(各年度版)※2018年は「看護師等学校養成所入学状況及び卒業生就業状況調査」より作成

看護系大学の年齢別入学状況



出典 令和4年 看護関係統計資料集